

# 平成24年度京都広報賞の概要

## ■目的

会員（市町村、組合、団体）の広報・広聴行政の発展、向上を図るために、京都府と京都府広報協議会の主催で開催

## ■知事賞・会長賞

### ○応募点数 計55点

- ・広報紙の部（市の部） 15点 同（町村の部） 4点
- ・写真の部（一枚写真の部） 19点 同（組み写真の部） 10点
- ・映像の部 7点

### ○審査方法

各分野の専門家である審査委員による審査で知事賞・会長賞を決定

<審査委員>

- ・広報紙の部 ふじた あきこ 藤田 晶子氏（フリーエディター）

つくだ ゆうじろう 佃 雄二郎氏（出版社 編集部マネージャー）

- ・写真の部 やまおか まさたけ 山岡 正剛氏（日本写真家協会会員）

- ・映像の部 まつだ としなが 松田 壽長氏（映像プロデューサー）

### ○講評

#### 1) 広報紙部門

##### ★市の部

【知事賞】長岡京市 12月15日号

特集（認知症特集）がしっかり作り込まれており、読みやすく、わかりやすかった。紙面レイアウトもしっかり組んでいる。人物の切り抜き写真や見出し周りのイラストなど、数は少ないが、うまく使えている。文字の大きさもちょうどよい。また、2色を効果的に使っていて視認性の良い誌面に仕上がっていると高評価を得た。

【会長賞】京丹後市 12月号

巻頭の「市民みんなが地域の『ちからこぶ』」（p2～）は、じっくりと取り組んだ力作で、しっかり取材されている。

紙面レイアウトがすっきりしていてストレスなく読める。今後も期待できる広報紙との良い評価を得た。

##### ★町村の部

【知事賞】宇治田原町 10月1月号

表紙の写真が高齢者を人として魅力的に捉えていて（言葉や文章がなくとも）表紙の登場人物の気持ちに共感できる。全体に紙面がすっきり読みやすくなり進化が感じられた。イラストなどで穴埋めせず、写真をあしらったレイアウトがストレスを感じない紙面になっていると高評価を得た。

【会長賞】大山崎町 12月1日号

表紙のインパクト、誌面がモノクロなのに見やすく作っているところなど、全体にセンスがよいと感じる広報紙。検索するための柱のデザインも好感を持てる工夫との評価を得た。

## 2) 写真部門

### ★1枚写真の部

【知事賞】京田辺市（さむかわゆうや寒川悠也さん） 8月1日号（表紙）

子ども達の視線をきっちりと捉えた構図で、流れのある写真になっている。子どもがかぶっているお面もユニークで、見る側が見入ってしまう仕上がり。紙面のキャッチもうまく、バランスがとれていると高評価を得た。

【会長賞】京丹後市（きもとたからみ木本貴文さん） 5月号（16ページ）

長寿世界一の木村次郎右衛門さんご家族の写真で、サイズは小さい（L版より一回り小さいぐらいの大きさ）が構図がよく、室内撮影なのに光の入り具合や色合いもよく出ていると良いと評価を得た。

### ★組写真の部

【知事賞】向日市（みよしかずみ三好和美さん・ゆかわけいた湯川敬太さん・いちほらみきひろ市原幹大さん） 6月1日号（10ページ）

プロでも撮影が難しい金環日食がよく撮れている。綿密な計画なしには日食は撮影できない。何百年に一度の金環日食を捉えたいという意気込みが伝わる作品だったと高い評価を得た。

【会長賞】京丹後市（たかくらりょう高倉 遼さん） 6月号（10～11ページ）

トリ貝の色鮮やかさ、新鮮さなどが表現されている写真で、地元ならではの話題をしっかりと活かしていることに今後が期待できるとよい評価を得た。

## 3) 映像部門

【知事賞】京丹波町「和知中学校女子合唱部～私たちは歌い続ける～」

1年間という期間を費やして追跡しているドキュメンタリー。生徒にカメラを意識させずに撮影しているのは信頼感がある証拠。その状態が作れる演出力と30分番組に構成している技術力が飛び抜けていたと高い評価を得た。

【会長賞】京丹波町 「須知高校男子ホッケー部 名門復活にかける熱き戦い」

強豪だった男子ホッケー部の名門復活をかけた戦いが、映像や構成など総合的に高く評価できる作品に仕上がっている。

## ■府民賞

京都広報賞の一部門として今年度から創設。『見て「いいな!」と感じた広報紙』を審査基準として府民による審査（Webと併せて外会場で投票）により、最も得票数が多い広報紙を府民賞に決定。

### 【府民賞】京丹後市 1月号

#### ※投票結果

No	市町村名	投票数		合計	ご意見（代表的なご意見）
		会場投票	Web投票		
1	京都市	97	2	99	カラーで見やすく、インパクトがあった。
2	福知山市	5	1	6	写真・絵と記事とのバランスが一番よかったように思う。シンプルで読みやすかった。
3	舞鶴市	67		67	構図がわかりやすく、何を伝えたいのかポイントがまとまっていた。カラーも良かった。
4	綾部市	19		19	親しみやすい。表紙をばっと見て、中身を読みたいと思った
5	宇治市	28		28	鮮やかな緑色があって、いちばん目がいった。
6	宮津市	5		5	地元だから。天橋立の世界遺産に頑張してほしい。
7	亀岡市	27		27	表紙の写真がいいと感じたので。
8	城陽市	8	2	10	表紙に行事が書いてあるので見やすい。
9	長岡京市	8	1	9	写真がきれいです。字の大きさも読みやすい。
10	八幡市	38	1	39	いい写真。それにカレンダーが便利で見やすい。
11	京田辺市	13	17	30	いろんなシーンの写真を掲載していて、効果的。
12	京丹後市	91	15	106	写真が中心で、ひと目でわかる印象が強い。
13	南丹市	24		24	カラーで字がはっきりしている。迫力がある。
14	木津川市	14		14	イラストをうまく活用して字も大きく読みやすい。
15	大山崎町	10	1	11	写真と文字とのバランスが良い。
16	宇治田原町	10	15	25	表紙のインパクトといい、町の人々が浮き出てるような親しみの持てる広報誌だと思う。
17	精華町	5	5	10	文字がはっきりとされていて、非常に見やすい。情報量が多く、生活に必要な情報などがきめ細かく取材されている。
18	京丹波町	9		9	読みたくなる表紙だった。
19	与謝野町	8		8	見やすい。言いたい事がよくわかる。
有効得票数		486	60	546	
投票総数		503	60	563	
無効票		17		17	